

# 緑が丘

学校教育目標  
自ら考え  
正しい行動のできる  
心豊かな生徒の育成

緑が丘中学校  
学校通信 NO.10  
令和6年2月1日発行

## 自ら考え、判断・行動できる生徒を目指す

1月末には猛烈な寒波が日本にやってくると警戒を呼び掛けるニュースが流れていました。昨年も同じ日に寒波が来襲し、三木でも積雪があったことが思い出されます。年に1度見るか見ないかの雪景色は新鮮でわくわくします。しかし、雪国では、立ち往生が起ったり、屋根の雪下ろしが大きな負担になるなど生活に大きな影響が出ています。このようななか、能登半島地震で自宅や家族を失ったうえ避難所で不自由な生活を送っておられる方々のことを思うと胸が痛くなります。今の私たちの穏やかな生活が当たり前と思わず、感謝の気持ち「ありがとう」を忘れず生活したいものです。



朝日を浴びて輝く校舎

さてこの度、緑が丘中学校では「生活のきまり」の見直しをおこないました。「生活のきまり」いわゆる校則は多くの生徒が共に生活する学校において皆が気持ちよく生活できるように定められたものです。また、生徒に規則を守ることを学ばせるという目的もあります。しかし、かつて学校が荒れていたころのものや細かい規定など違和感を覚えるものがあるのも事実です。一方、コロナ禍で換気することが優先され服装に関するルールがあるにもかかわらず守ることがいい加減になっているという現状もあります。そこでこの度、生徒会役員と協議を重ね、まず「規則を守る」取組を行い、規則を守ることを意識したうえでルールを変更することを検討しました。その結果、下着と通学靴の規定を見直すことにしました。社会に出ると一つ一つ指示されるわけではありません。自分で考えて TPO(時・場所・状況)に応じた服装、行動をとらなければなりません。中学生にすべてを任せるとするのはまだまだ難しいので、全て自由というわけにはいきませんが、決められた中で、「本当にそれでいいの？」と自分に問いかけることが大切です。服装だけでなく様々な場面で自ら考え、判断・行動できる生徒となってください。それがみんなの暮らしやすい素晴らしい緑が丘中学校を作ることにつながるのです。

いよいよ3年生にとって受験本番となりました。10日(土)には私立高校の一般入試、15日(木)には公立高校の推薦・特色選抜入試を控えています。既に進路の決まった人もいます。冬



膨らみ始めた桜のつぼみ

休みはこれまでで一番勉強した…そんな人も多かったのではないのでしょうか。受験者は、面接練習など初めて迎える受験に大きなプレッシャーを感じていることでしょう。受験は自分の力で壁を乗り越えていかなければなりません。でも一人ではありません。受験は団体戦とよく言われます。ひとりで悩み、頑張りすぎはいけません。困ったときには相談してください。みんなで壁を乗り越えていきましょう。応援しています。

校長 西臺 士郎

## 《第49期生徒会、始動！》

1月9日(火)に生徒会認証式があり、5人の三役役員と6人の専門委員長に委嘱状が渡され、第49期生徒会が正式に始動しました。活動スローガンは「躍進緑中～move for someone～」です。今までの先輩達が築いてきた良い伝統を受け継ぎながら、新しい試みにチャレンジしてください。そして、生徒会会員である全校生徒で活動を盛り上げ、緑が丘中学校が「躍進」するための追い風を吹かせましょう。



第48期生徒会の役員・専門委員長のみなさん、1年間ありがとうございました。そして、お疲れさまでした。

## 《地域総合防災訓練(1月20日(土))》

災害発生時の避難所開設に向けた一連の流れを教職員と地域の方々と共有することで不安要素を取り除き、スムーズな初期対応が行えるようにすることを目的として、地域総合防災訓練を行いました。

学校教育課、危機管理課の方から、避難所開設・運営について説明をいただき、校内の避難施設・備蓄倉庫を2つのグループに分かれて確認しました。その後、段ボールベッドや間仕切りテントの設営訓練を行いました。

避難所開設に対する具体的なイメージを持つことができ、短い時間でしたがとても有意義な機会になりました。



2月の行事予定表は、保護者専用ページに載せています。